

# EGOTERIC

## CD DRIVE UNIT/MULTI D/A CONVERTER

# P-10/D-10

5700109100

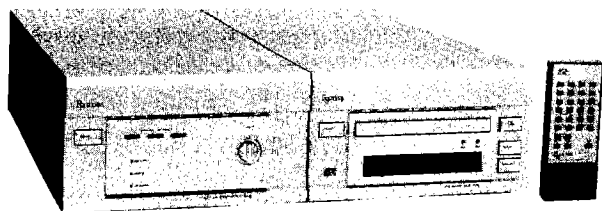
COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO

## ■ 取扱説明書

このたびは、エソテリック製品をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、個々の部品選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しい品質管理を一台一台受け製造されております。最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用になり末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

### 目次

特長	2~3
ご使用前に	4
防振装置について	5
コンパクトディスクの取り扱い	5
接 続	6~7
各部の名称と機能/操作説明	8~12
リモコンについて	13
演奏のしかた	14
プログラム演奏	15~16
リピート演奏	17
便利な機構とその使い方	18~19
タイマー演奏	20
おや!?故障かな?	20
解 説	21
アフターサービスについて	22
寸法図	22
仕 様	23
TEACサービス・エリア	裏表紙



## 特長

■エソテリック独自の高品位メカニズム。ディスクのソリを矯正する大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構。

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす、新開発の大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスク径と同径のターンテーブルと高精度に調整されたクランパーでディスク全体を圧着。ソリや歪みを矯正し、常にピックアップの光軸の中心で、微細なピットを正確に読みとると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした全く新しいディスク・クランピング・システムです。

■超安定度を誇る、新開発フローティング・サスペンション。(P-10)

CDプレーヤーのいわば心臓ともいえる光学系メカニズム。このP-10の最も大切な駆動部を、内部共振や外部振動、音圧の影響から守り、精度の高い安定した信号の読みとりを可能にする、新開発フローティング・サスペンション。

■卓越したディスク追従性の高精度3ビーム方式リニアトラッキング・ピックアップ。(P-10)

軽量化と高剛性を両立させた新開発の3ビーム方式リニアトラッキング・ピックアップ・システム。際立つディスク追従性を誇り、大型圧着ターンテーブルによる制振設計の高剛性ディスク保持機構と相まって、高精度のピックアップ・アビリティをもたらします。

■音質重視の大容量電源部。新開発オーディオ用100VAトランスを搭載。(D-10)

高純度な音質を保証。自己インダクタンスを軽減し、フラットな高域と豊かな低域を生み出す新開発トランス。必要量を大幅に上まわる100VAの大容量で、高品位の電源供給をもたらします。さらに、極性表示された極太タイプ電源コードにより、デジタル系、アナログ系それぞれの伝送性能を大幅に高め、ニゴりのないストレートな伝送を可能にしています。

■重量級インシュレーターと相まって、徹底した制振設計の高剛性2重シャーシ。

(P-10/D-10)

CDプレーヤーとしては他に類を見ない、高剛性、重量級の2重シャーシを採用。アルミ削り出しフロントパネルと肉厚シャーシとを強固に合体させることで、強靱でしかも優れた振動減衰特性を備えた、理想のコンストラクションを形成。しかも、CDドライブユニットとD/Aコンバータを分離し、きわめて剛性の高いリジッド構造の高密度実装セパレートタイプとすることで、音圧の影響をうけず、外部振動や機械的振動にきわめて強い筐体を実現。さらに特殊合金でつくられた、重量級のインシュレーターは、音質を損う有害な振動・共振を効果的に分散・排除しています。

■驚異的な音の分解能とリニアリティーを獲得  
フルタイム18bit4倍オーバーサンプリング・デジタルフィルター搭載。(D-10)

きわめて高精度にピックアップされたデジタル信号を、高品位に再生するため、新開発フルタイム18bit D/Aコンバータを搭載。18bit 4倍オーバーサンプリング・デジタル・フィルターにより、きわめて正確にデジタル演算された予測値を、原信号間に4倍の高密度で補間。18bit D/Aコンバータで高解像度変換することにより、18bitの高精度階調(16bitの4倍精度)での、アナログ変換が可能になりました。その結果、今までCD再生では難しいとされていた、音楽の微妙なニュアンスや音像のディテールまでをも、きわめてふくよかに、あふれる臨場感で再生可能となりました。

■D/A変換時の高調波歪率を徹底して低減。卓越したデジタル精度を誇るZDサーキット。

(D-10)

デジタル信号のD/A変換時には、D/Aコンバータの非直線性に起因する歪みが発生し、特に-60dB以下の微小レベルや、信号がゆるやかに変化する場合は、増大する傾向があります。この歪みは、大小信号が混在する場合にも現れ、音楽の微妙なニュアンスを表現する上で悪影響を及ぼしていました。このD/A変換時のいわば宿命ともいわれてきた歪みを低減するため、理想ともいえるディザ信号方式を、独自のZDサーキットとして見事に解決しました。このZDサーキットは、ディザ信号の加減算を行なうことで、D/Aコンバータの変換誤差を激減。D/A変換制度を極限にまで高める高品位回路です。また、ZDサーキット後段には、新開発の自動減算回路を採用。さらに高精度なD/A変換を実現し、ひずみ感のない、透明で豊かな音楽性を生み出しています。

■0Hzからの完全DC化。ZDサーキットが可能にした、全段直結リニアフェイズ。(D-10)

ZDサーキットは、D/A変換後のディザ信号減算と同時に、D/Aコンバータのオフセット電圧までキャンセルするため、後段アンプの若干のオフセット電圧の補正のみで、0Hzからの完全DC化が可能です。そのため、周波数特性0Hz~20kHzの超広帯域再現が可能となるとともに、D/A変換後の伝送系にカップリングコンデンサーやDCサーボ回路を必要とせず、歪みの増加や位相差の発生がなく、音質面で色づけないピュアで高忠実な伝送系を実現しました。

■リチウムタンタレートVCOを使用したPLL回路により、クロックジッターのないピュアなクロックを抽出。時間軸方向でも、揺れない正確な再生を実現します。(D-10)

CD、DAT、BS放送などのデジタル入力は、32kHz、44.1kHz、48kHzというさまざまなサンプリング周波数をもっています。これらのサンプリング周波数に正確に対応し、なおかつクロックジッターのないピュアなクロックを抽出するためD-10では、リチウムタンタレートVCOを使用したPLL回路を採用。クオーツ発振に迫る高純度なクロックと広いロックレンジを獲得しています。

■デジタル出力付のあらゆる機器のD/A変換性能を、18bit D/A 4倍O.S.+ZDサーキットの純度へと高めるマルチ入力機能。(D-10)

あらゆるデジタル出力端子をもった機器。たとえばCDプレーヤー、DAT、BSチューナーなど、異なるサンプリング周波数をもった機器と接続することで、《フルタイム18bit D/Aコンバータ+4倍オーバーサンプリング・デジタル・フィルター+ZDサーキット》を通した、高品位なアナログ出力への変換が可能。音質を徹底的に磨きあげる高純度変換機能です。

# ご使用の前に

## ■設置／使用上のご注意

### 設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質が悪化したり故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)、では製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部にサビを生じたり故障の原因となります。
- ホコリの多い場所ではスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり性能をそこなうことがあります。
- 結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムをひろう原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。
- 必ず水平な場所に置いてご使用ください。

### セットのお手入れには

セットをベンジン、シンナー系の液体で拭いたり、化学ぞうきんを使ったり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。

お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。

### 取り扱いについては

定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切にしてください。特に、コンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

\*本機は、国内電源AC100V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は保証できません。

### 落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

### ディスク

ヒビが入ったディスクは絶対使用しないでください。また、ディスク・レコード面にはほこりや指紋を付けないように取り扱ってください。

### 光ヘッド(半導体レーザー)

光ヘッドは、プレーヤーの性能を決める重要な部分のひとつです。触れないようにしてください。光ヘッドの表面をきれいに保つために、プレーヤーをご使用にならないときは、ディスク・テーブルをしめておいてください。

### 水に濡れたら

万一雨がかかったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

### ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときには、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

### セットの移動

セットを移動する場合は、接続コードのショートや断線を防ぐため必ず電源プラグを抜き、他の機器との接続コードをはずしてから動かしてください。

### スタビライザーは使用しない


市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。演奏ができなくなったり、故障の原因となります。

### 結露現象について

各期などに本機(またはコンパクト・ディスク)を戸外から暖房中の室内に持込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露が付き

ます。露がついたままではレーザー光による信号の読取り演奏ができません。

結露の程度にもよりますが、電源を入れて1~2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消え、演奏できるようになります。



これは電子機械工業会「音楽を楽しむ エチケツ」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## 防振装置について

CDプレーヤー内部にあるレーザー・ピックアップ部は、輸送時の振動から守るために、防振装置で固定してあります。

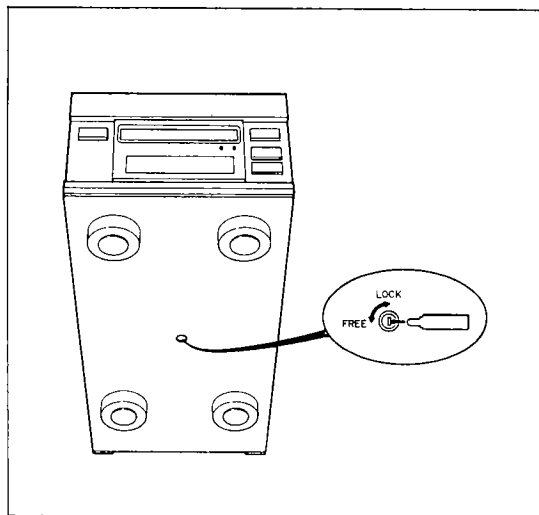
本機をご使用になる前は、必ず同装置を解除状態にして下さい。

### 解除のしかた

本機の電源を入れる前に、図のように後面を下にして、“FREE”側へ回転させてください。

### 引越しなどで輸送するときは…

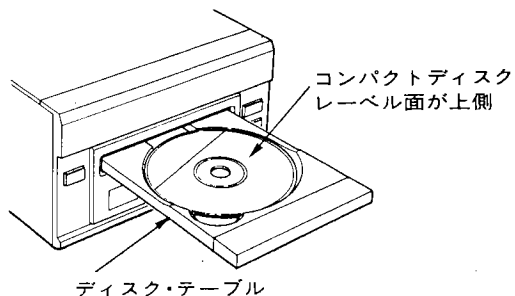
再度、防振装置で固定してください。電源を入れ、ディスク・テーブルを一度開けてディスクが取り出していることを確かめてから、再びディスク・テーブルを閉めます。電源を切り、上記と同じ要領で“LOCK”側へ回転させます。



## コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。discマークのあるコンパクトディスク（120mm/80mm）をお使いください。

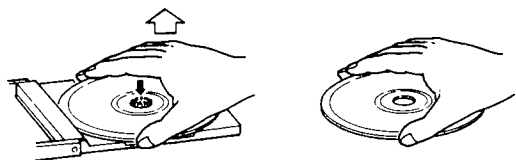
- ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。（コンパクトディスクの演奏は片面だけです。）



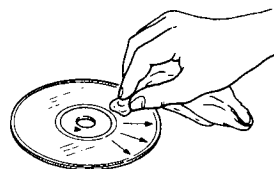
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

取り出し方

コンパクトディスクの正しい持ち方



- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。



コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれがついたら柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりやよごれは、音質には全く影響ありません。

- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。コンパクトディスクのひどい変形や、ひどいキズは音とびの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

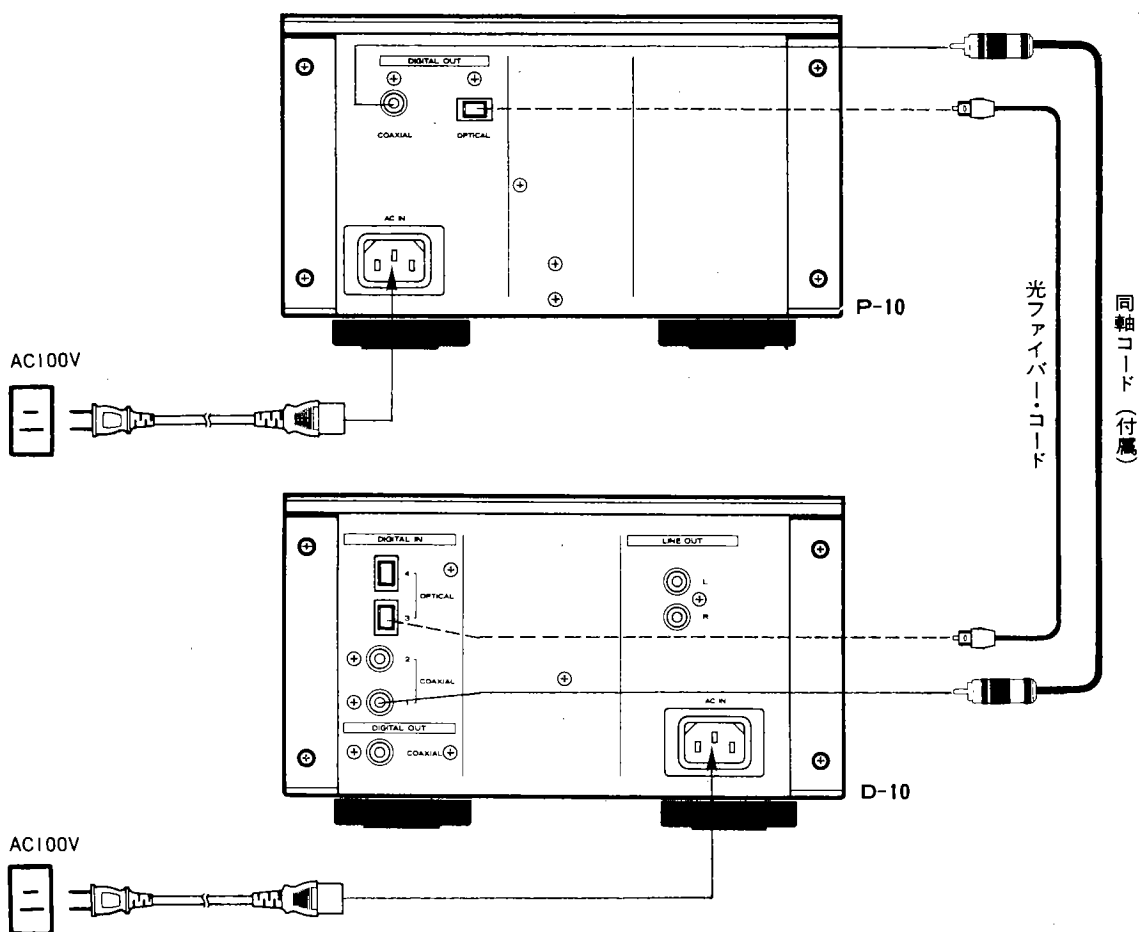
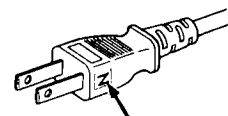
# 接続

## ■P-10とD-10の接続

- 取扱説明書をよくお読みの上、必ずCDドライブユニット(P-10)/マルチD/Aコンバーター(D-10)の電源を切ってから接続してください。
- 同軸コード(P-10に付属)を、P-10の[DIGITAL OUT-COAXIAL]とD-10の[DIGITAL IN COAXIAL 1~2]のいずれかに接続して下さい。また、光ファイバー・コードを使用する場合はP-10の「DIGITAL-OPTICAL」とD-10の「DIGITAL IN 3~4」を接続して下さい。

## 電源の接続

- 必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。
- 本機は、電源の極性管理がされていますので、次の方法で接続することをお勧めします。電源プラグの側面に「N」印のあるほうがアース側になっていますので、極性を合わせて接続してください。



\* 光ファイバー・コードを使用する場合は、コード先端および接続端子のキャップをはずしてください。なお、使用しない場合は、双方の「キャップ」を取り付けておいてください。

\* 同軸コードを使用する場合は、コードの部分に接続機器の方向を表示するシールがついていますので、指定通りに接続してください。

## ■ステレオ・アンプとの接続

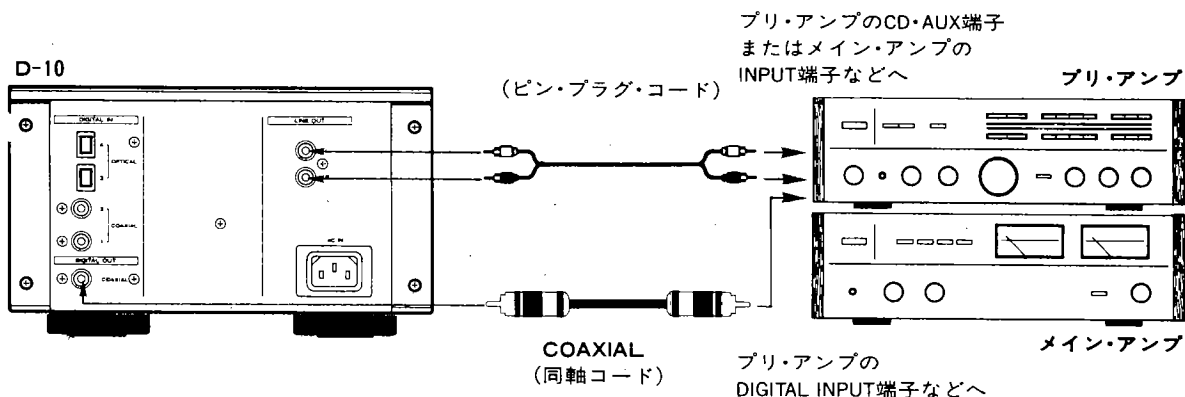
- 接続するステレオ・アンプの取扱説明書をよくお読みの上、必ずステレオ・アンプおよび本機の電源を切ってから接続してください。

### ① デジタル信号を使用する場合

- D-10の〔DIGITAL OUT〕端子と、デジタル入力端子を持っているアンプの〔DIGITAL INPUT〕を接続します。(同軸コードを使用)

### ② アナログ信号を使用する場合

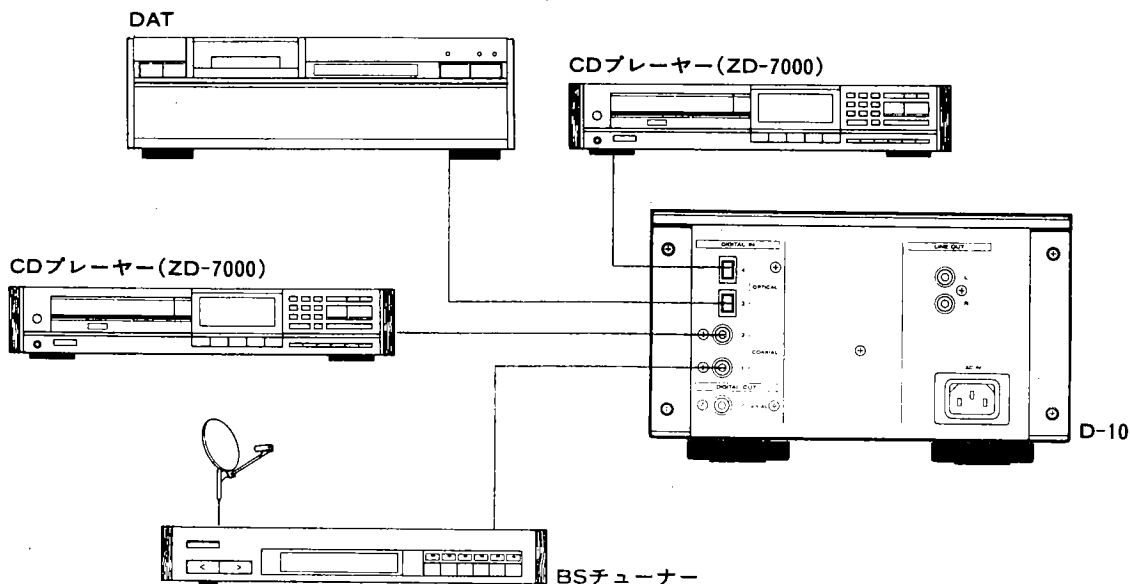
- ピン・プラグ・コードは、〔L〕(左チャンネル)を白、〔R〕(右チャンネル)を赤と決めて接続すると、チャンネルをまちがえる心配がありません。



## ■D-10とデジタル出力を持つ機器との接続

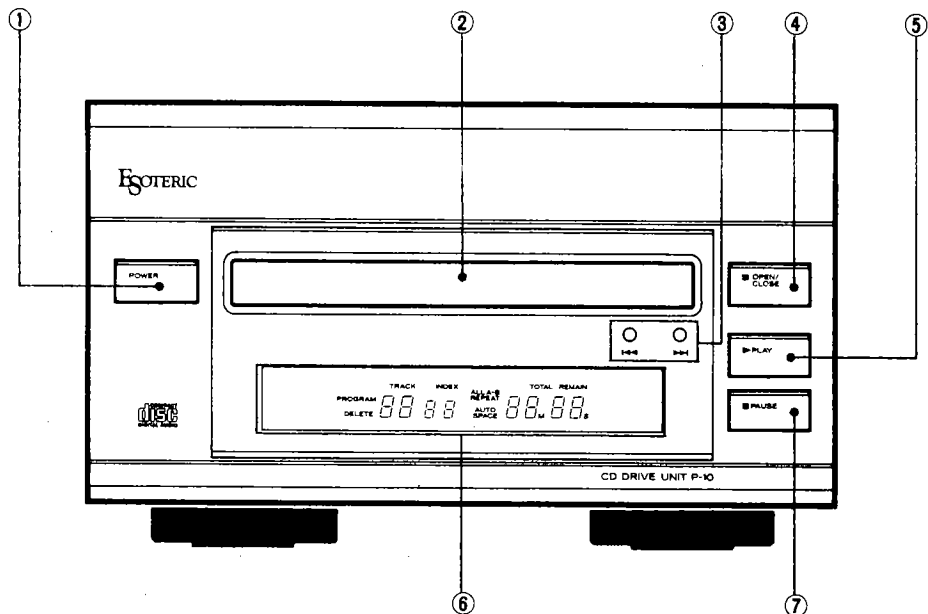
- 接続する機器の取扱説明書をよくお読みの上、接続してください。

- \*〔DIGITAL IN〕端子の「3~4」は、「光出力(OPTICAL OUTPUT)」を持つ機器との接続に使用します。



# 各部の名称と説明

## P-10: CDドライブ・ユニット



### ①電源スイッチ〔POWER〕

押ししてONにすると表示窓のFL管が点灯して電源が入り、もう一度押ししてOFFにすると電源が切れます。

\*ディスクが入っている場合は、自動的に演奏が始まります。

### ②ディスク・テーブル

ディスクを装着するところです。〔OPEN/CLOSE〕ボタンを押すと前面に出てきます。〔OPEN/CLOSE〕ボタン、〔PLAY▶〕キーまたは〔PAUSE II〕キー、ダイレクト選曲キーのいずれかを押し、ディスク・テーブルは収納されます。

### ③スキップ・キー〔◀▶〕

演奏中または一時停止中に押し、押し度に曲の頭をサーチします。また、停止中に押し、曲番の選択ができます。■19ページ

●〔◀〕: 1回押しごとに、今聞いている曲の頭に戻ります。また、押し続けると順次前の曲に戻ります。

●〔▶〕: 1回押しごとに、次の曲の頭にとびます。また、押し続けると、順次次の曲へと移ります。

### ④開閉ボタン〔OPEN/CLOSE〕

1度押しすると、ディスク・テーブルが出ます。もう1度押しすると、ディスク・テーブルが収納します。開閉時、「■」インジケーターが点滅します。また、ディスクが装着されると「■」インジケーターは点灯します。

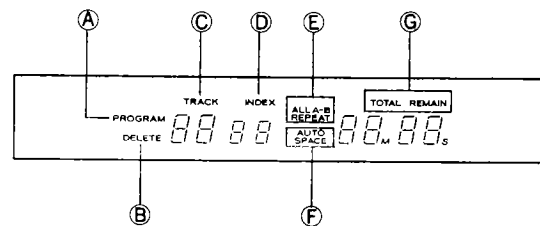
### ⑤プレイ・キー〔PLAY〕

演奏を始めるときに押します。また、プログラム演奏を開始する場合にも押します。

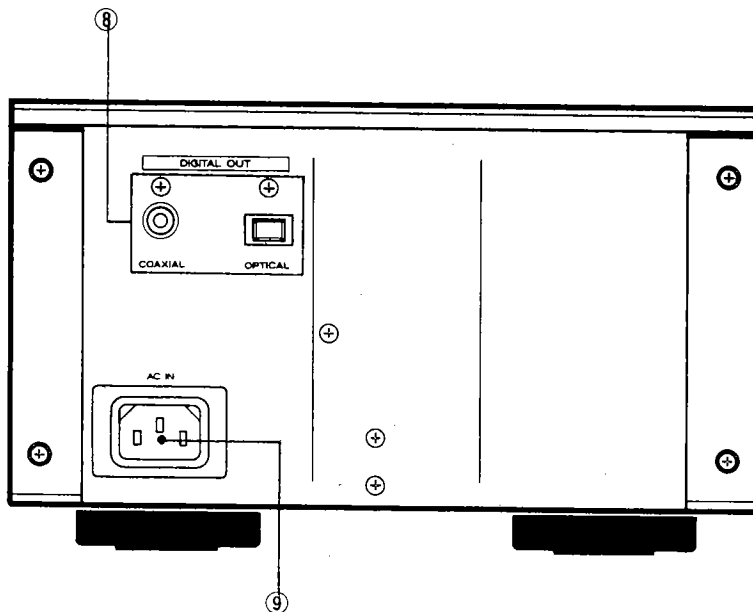
“▶”インジケーターが演奏中点灯します。

### ⑥表示窓

本機の作動状態、または各種モードによって次の表示がでます。







**① (PROGRAM)**

プログラム・モードで点灯します。

**② (DELETE)**

デリート・プログラム・モードで点灯します。

**③ (TRACK) : トラック・ナンバー**

ディスクを装着したとき、ディスクに入っている曲数を表示します。演奏またはプログラム中は曲の番号(曲番)を表示します。

**④ (INDEX) : インデックス**

演奏中の曲のインデックス番号を表示します。

**⑤ (REPEAT) : リピート**

● (REPEAT ALL) : 全曲リピート・モード時に点灯します。

● (REPEAT) : 1曲リピート・モード時に点灯します。

● (REPEAT A-B) : ブロック・リピート・モード時に点灯します。

**⑥ (AUTO SPACE) : オート・スペース**

オート・スペース・モードで点灯します。

**⑧ (REMAIN) / (TOTAL REMAIN)**

リメイン / トータル・リメイン

タイムカウンターが残量時間表示モードのときは“REMAIN”が点灯し、総残量時間表示モードのときは“TOTAL REMAIN”が点灯します。

**⑦ 一時停止キー (PAUSE)**

演奏を一時停止するときに押します。再び演奏を始める場合は、[PLAY▶]キーを押します。“■”インジケーターが一時停止中点灯します。

**⑧ デジタル出力 (DIGITAL OUT)**

本機のデジタル信号出力は、同軸コード用と光ファイバー・コード用の2系統を備えています。

● 「COAXIAL」出力端子

同軸コード (RCA-RCA) 用出力端子です。

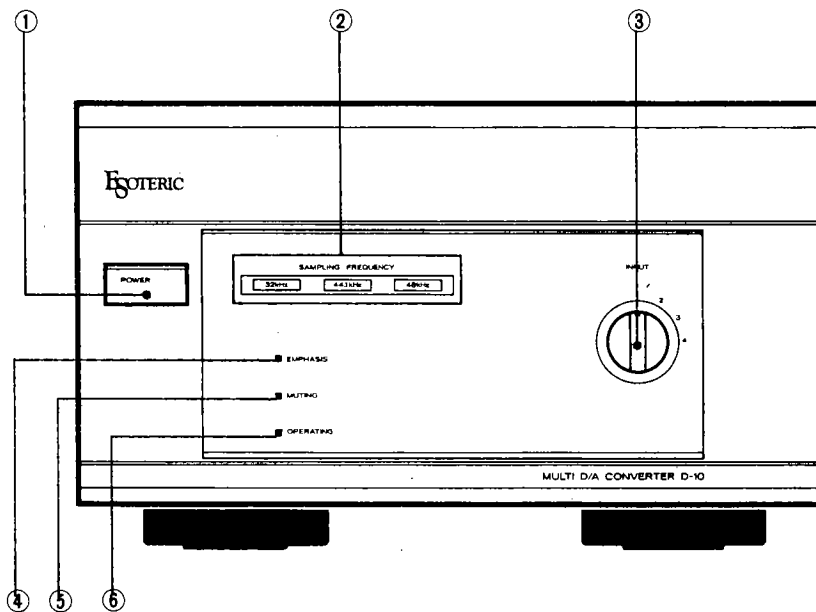
● 「OPTICAL」出力端子

光ファイバー・コード用出力端子です。

**⑨ 電源入力 (AC IN)**

AC電源コード(付属)を接続します。

## D-10: マルチD/Aコンバーター



### ①電源スイッチ〔POWER〕

押してONにすると“MUTING”または“OPERATING”のLEDが点灯して電源が入り、もう一度押してOFFにすると電源が切れます。

### ②サンプリング周波数インジケーター 〔SAMPLING FREQUENCY INDICATOR〕

〔INPUT〕に入力されたデジタル信号のサンプリング周波数を自動的に読みとり点灯表示します。

- 32kHz：DBS(Direct Broadcast Satelliteの略)
- 44.1kHz：CD、録音済みDATソフトテープ
- 48kHz：DBS、DAT(録音再生)

### ③インプット切換スイッチ〔INPUT〕

〔INPUT〕を回すと、4入力のINPUTが切り替わります。(COAXIAL：1～2、OPTICAL：3～4)

### ④エンファシス・インジケーター 〔EMPHASIS〕

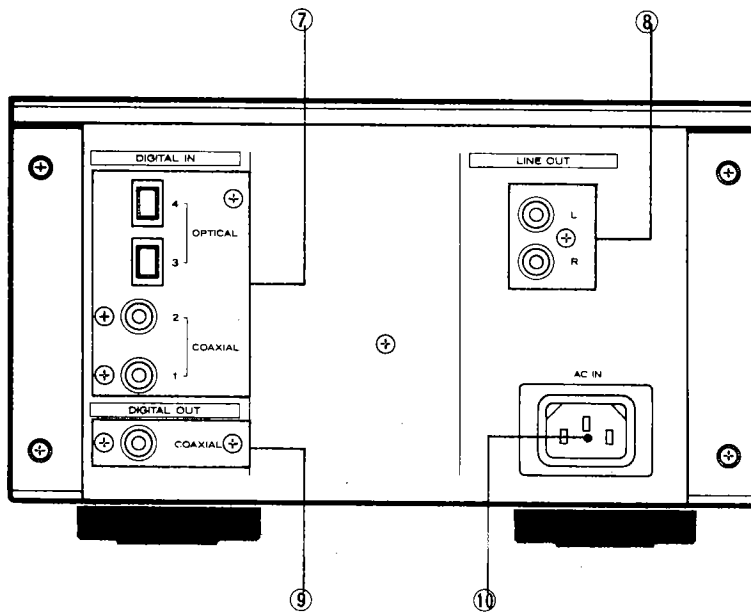
エンファシス信号が記録されているソースの再生時に点灯表示します。

### ⑤ミュート・インジケーター 〔MUTING〕

〔INPUT〕端子への入力信号がない場合に点灯表示します。

### ⑥オペレーティング・インジケーター 〔OPERATING〕

〔INPUT〕端子に入力されたデジタル信号が安定し、作動状態になると点灯表示します。



**⑦ デジタル入力端子 [DIGITAL IN]**

本機のデジタル入力は、「COAXIAL」と「OPTICAL」の2系統を持っています。

● 「COAXIAL」(1~2)

P-10 または DAT などのデジタル出力を同軸コード (RCA-RCA) によって接続します。

● 「OPTICAL」(3~4)

P-10 または DAT などのデジタル出力を光ファイバーコードによって接続します。

**⑧ アナログ出力端子 [LINE OUT]**

通常のスtereoアンプに接続します。

**⑨ デジタル出力端子 [DIGITAL OUT]**

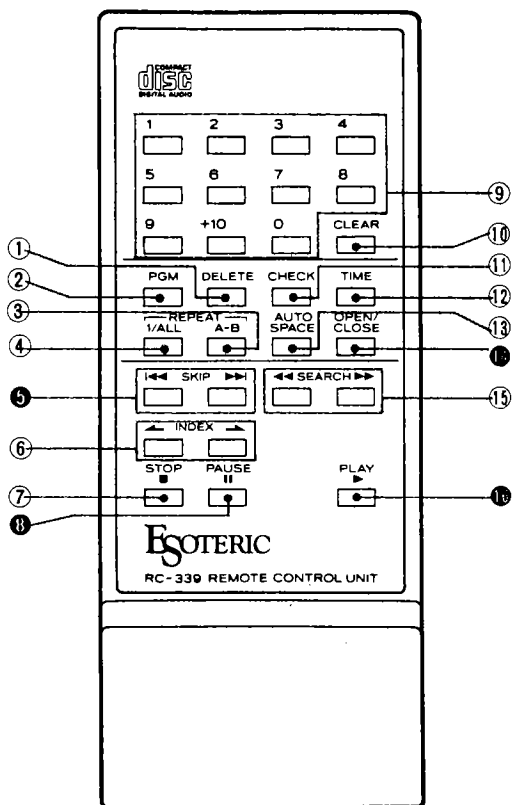
デジタル・アンプなどの [DIGITAL INPUT] 端子に同軸コード (RCA-RCA) で接続します。

**⑩ 電源入力 [AC IN]**

AC 電源コード (付属) を接続します。

## RC-339: リモート・コントロール・ユニット(リモコン)

- リモート・コントロール・ユニットはP-10の表示窓に向けて操作してください。
- 黒丸数字の番号は本体と同じ動作キーです。本体と同じ動作キーは“P-10”の説明をごらんください。



### ① デリート・キー〔DELETE〕

押してデリート・プログラム・モード (P-10に“DELETE”点灯) にすると、聞きたくない曲だけをとばした演奏が可能となります。デリートの解除の場合にも使用します。(設定はストップ・モード時のみ)

### ② プログラム・キー〔PGM (PROGRAM)〕

押してプログラム・モード (P-10に“PROGRAM”点灯) にすると、プログラム演奏が可能となります。  
\* ストップ・モードのみプログラムの設定ができます。またプログラムの解除する場合にも使用します。

### ③ リピート演奏キー〔REPEAT: A-B〕

A-B間のブロック・リピート演奏を行うときに使用します。■17ページ

### ④ リピート演奏キー〔REPEAT: I/ALL〕

1曲または全曲リピート演奏を行うときに使用します。■17ページ

### ⑤ スキップ・キー〔SKIP (I/II)〕

### ⑥ インデックス・キー〔INDEX〕

インデックスが記録されているディスクでは、インデックスからの演奏ができます。■18ページ

### ⑦ 停止キー〔STOP ■〕

押すと演奏を停止し、P-10の表示窓はTRACK“0”表示となります。またプログラム・モードの解除をする場合にも使用します。

### ⑧ 一時停止キー〔PAUSE II〕

### ⑨ ダイレクト選曲キー

⑩～⑨、+10までの各キーは、ダイレクトに指定演奏するときに使用します。

### ⑩ クリアー・キー〔CLEAR〕

プログラムされている曲の削除に使用します。(ストップ・モード時のみ) ■16ページ

### ⑪ チェック・キー〔CHECK〕

プログラムされている曲のチェックができます。(ストップ・モード時のみ) ■15ページ

### ⑫ タイム・モード・キー〔TIME MODE〕

P-10表示窓のタイム・カウンターのモードを切り換えることができます。■19ページ

### ⑬ オート・スペース・キー〔AUTO SPACE〕

押すとP-10の表示窓に“AUTO SPACE”が点灯し、演奏時の曲間が約4秒になります。もう1度押すか、〔STOP ■〕キーを押すと解除されます。

### ⑭ 開閉ボタン〔OPEN/CLOSE〕

### ⑮ サーチ・キー〔SEARCH ◀▶〕

演奏中または一時停止中に押すと、指を離すまでの間が早送り/早戻しとなります。〔◀〕キーを押すと早戻し、〔▶〕キーを押すと早送りになります。■18ページ

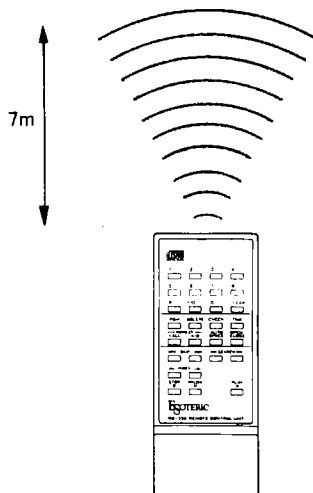
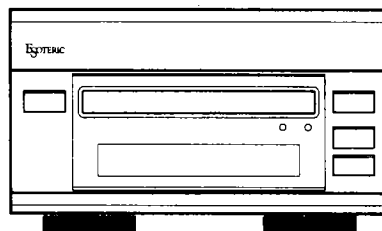
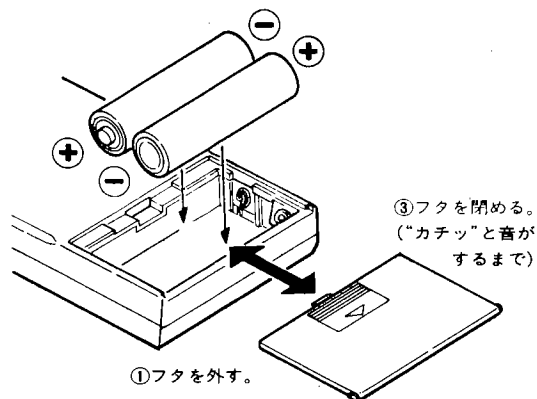
### ⑯ プレイ・キー〔PLAY ▶〕

## ■リモコンについて

本機(P-10)に付属のリモコンは、P-10を操作するためのすべての“キー”を備えています。電源のON/OFFを除き、本体から離れた所からでも、すべての操作をすることができます。

## ■電池について

### リモコンへの装着



### 電池の交換時期は……

リモコンでの操作可能範囲が狭くなったり、リモコンの操作キーを押しても本機が動かない場合は、電池が消耗しています。新しい電池に2本とも交換してください。

### 電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの危険があります。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

## ■使用上のご注意

- P-10との間に障害物があったり、操作時の角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くでCDプレーヤーを使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、CDプレーヤーは誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しない時は、電池の液もれを防ぐために電池を取出してください。もし液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください。

# 演奏(基本操作)

P-10に付属のリモコンは、本機の操作に必要なすべて(電源を除く)を備えていますので、ここからの説明は、リモコンを使用した場合とします。なお、本体側の操作ボタンでも、リモコンの一部と同様の操作ができます。

## ■基本操作

### 〈ステレオ・アンプ〉

- ステレオ・アンプの電源をONにし、セレクターをD-10が接続されている「CD」などにセットする。
- \*詳しくは、アンプの取扱説明書を読んでください。

### 〈P-10〉/〈D-10〉

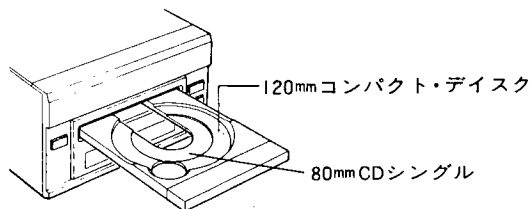
- 〔POWER〕スイッチを押して電源をONにする。
- D-10の〔INPUT〕を回わして、P-10が接続されている入力端子(1~4)を選択する。

#### 1. 〔OPEN/CLOSE〕ボタンを押す。

- \*ディスク・テーブルが手前に出ます。
- \*ディスク・テーブルは電源が入っていないと開閉できません。

#### 2. ディスクは、レーベルを上にしてディスク・テーブルに乗せる。

- \*ディスクを中央部のガイドに正しく入れてください。



#### 3. 〔OPEN/CLOSE〕ボタンを押す。

- \*ディスク・テーブルが閉じ、P-10の表示窓に「曲数」および「総演奏時間」が表示され続けます。

#### 4. 〔PLAY▶〕ボタンを押す。

- \*本体〔PLAY〕ボタン内のLEDが点灯し、ディスクの1曲目から演奏を始めます。

#### 5. ステレオ・アンプの〔OUTPUT〕ボリュームを調整する。

#### 6. 演奏を止める場合は、〔STOP■〕キーを押す。

## ■ディスク・テーブルを開いたままでも

### 〔PLAY▶〕キーを押すと……

ディスク・テーブルが自動的に閉まり、ディスクの最初の曲から演奏を始めます。

### ダイレクト選曲キーを押すと……

ディスク・テーブルが自動的に閉まり、ダイレクト選曲キーで指定された曲から演奏を始めます。

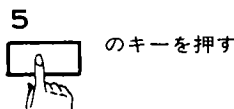
### 〔PAUSE II〕キーを押すと……

ディスク・テーブルが自動的に閉まり、ディスクの最初の曲で一時停止になります。

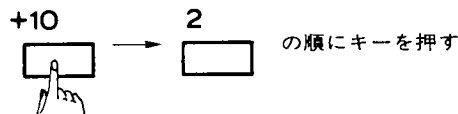
## ■ダイレクト選曲

希望する曲番と同じ数を「ダイレクト選曲キー」で押すと、〔PLAY▶〕キーを押すことなく、指定の曲から演奏を始めることができます。

### 例1：曲番⑤から演奏する場合……



### 例2：曲番⑫から演奏する場合……



## ■演奏の中止

### ディスクを取り出す場合……

〔OPEN/CLOSE〕ボタンを押す。

演奏が止まり、ディスク・テーブルが手前に出ます。

### 一時停止する場合……

〔PAUSE II〕キーを押す。

演奏が一時停止します。再び演奏を始める場合は、〔PLAY▶〕キーを押す。

### 演奏を止める場合……

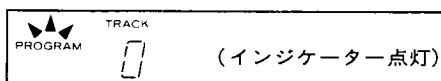
〔STOP■〕キーを押す。

# プログラム演奏

1枚のディスクからお好きな曲を、演奏させたい順に、最大20曲までプログラム・メモリーして演奏を行うことができます。またプログラムの途中でポーズ〔PAUSE II〕を入れることもできます。

## ■プログラムのセット

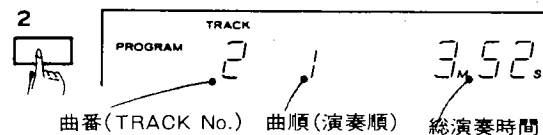
- 1.〔STOP〕キーを押す。
- 2.〔PROGRAM(PGM)〕キーを押す。



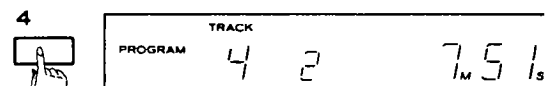
3. ダイレクト選曲キーを押す。

例：〔2〕→〔4〕→〔PAUSE〕→〔15〕→〔10〕の順に演奏を行うには

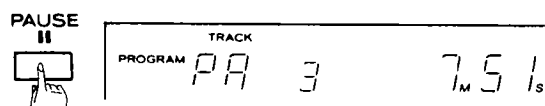
- ①ダイレクト選曲キー〔2〕を押す。



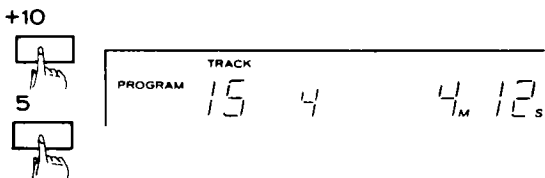
- ②ダイレクト選曲キー〔4〕を押す。



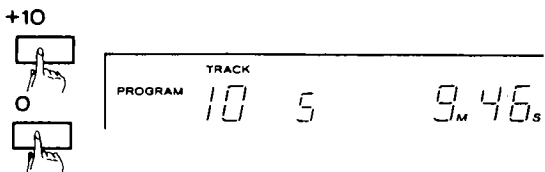
- ③〔PAUSE〕キーを押す。



- ④ダイレクト選曲キー〔+10〕→〔5〕を押す。



- ⑤ダイレクト選曲キー〔+10〕→〔0〕を押す。



\* 指定の曲をメモリーする度に、曲番・曲順および総演奏時間が表示されます。

\* 曲番〔1〕以降の曲をメモリーに含んでいる場合、合計演奏時間は表示されません。

4.〔PLAY▶〕キーを押します。

\* プログラムに(PAUSE)を含んでセットされている場合には、(PAUSE)の位置で一時停止をし、次のプログラムの曲番表示をします。演奏を開始する場合は、〔PLAY▶〕キーを押します。

●演奏を終了しても、曲はメモリーされています。

●プログラム演奏後に〔STOP■〕キーを押して演奏を止めても、曲はメモリーされています。さらに〔STOP■〕キーを押すと、“PROGRAM”表示が消え、曲もメモリーから消滅します。

●〔PROGRAM〕キーをもう一度押す、またはプログラム演奏を始める前に〔STOP■〕キーを押すと、メモリーされている曲は消滅します。

●プログラム入力中に〔DELETE〕キーを押すといままでプログラムされた全ての曲は消滅します。

## ■プログラム内容のチェック

“プログラムのセット”中に〔CHECK〕キーを押します。

〔CHECK〕キーが押されるたびに、表示窓にプログラムの曲番・曲順を順次表示します。

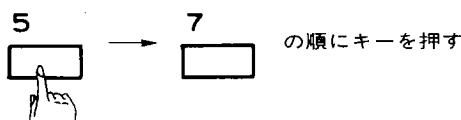
## ■プログラムの修正(追加/削除)

### ■追加

プログラムにさらに曲を追加する場合は、追加したい曲番のダイレクト選曲キーを押すだけで、プログラムの最後に曲を追加して行くことができます。

例：②→④→〔PAUSE〕→⑮→⑩に⑤⑦を追加する場合……

1. 〔STOP〕キーを押す。
2. ダイレクト選曲キー⑤⑦を押す。

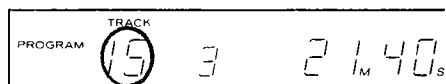


3. 他にも追加したい曲がある場合は、1と2の操作を繰り返します。
4. 〔PLAY▶〕キーを押すとプログラムしたい順に演奏を行ないます。

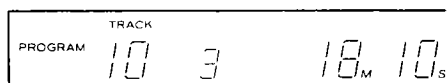
### ■削除

例：②→④→⑮→⑩とプログラムして、⑮を消す場合……

1. 〔CHECK〕キーを押して、表示窓に曲番⑮ (TRACK NO) を表示させる。



2. 〔CLEAR〕キーを押す。  
\* ⑮が削除され、次の曲順が繰り上って表示されます。

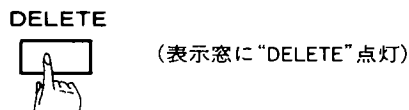


3. 他にも削除したい曲がある場合は、1と2の操作を繰り返します。

## ■デリート・プログラム演奏

1枚のディスクのうち“演奏したくない曲”をあらかじめ選んでおくと、指定された曲を除いて演奏を行います。つまり、通常のプログラム演奏とは逆の操作になるわけです。

1. 〔DELETE〕キーを押す。

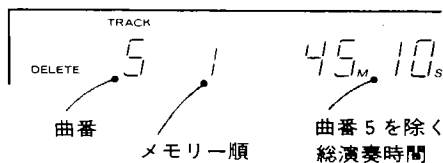
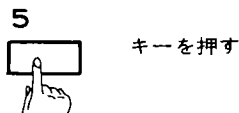


\* セットされているディスクの曲数、総演奏時間を表示します。

2. プログラム演奏と同様、ここでは削除したい曲番のダイレクト選曲キーを押す。

例：⑮を削除指定する場合……

- ①ダイレクト選曲キー⑮を押す。



- ②さらに指定する場合は、ダイレクト選曲キーを繰り返し押します。
- 削除した曲の内容は、通常のプログラムの場合と同じ手順でチェックおよび修正を行うことができます。

3. 〔PLAY▶〕キーを押すと、メモリーした曲を除いて演奏を行います。

\* 演奏する曲に⑮曲以降の曲番を含むときは、合計演奏時間が表示されません。



# リピート演奏

ディスクの1曲/全曲/任意のA・B間、の各リピート演奏ができます。

## ■ディスクの1曲を繰り返すには…

### 〈1曲リピート演奏〉

1. [1/ALL]キーを押す。

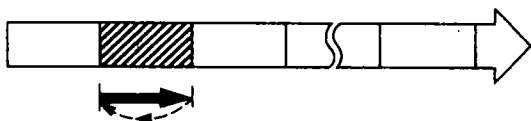


(表示窓に“REPEAT”点灯)

2. 希望の曲番のダイレクト選曲キーを押す。

\* 指定曲の演奏が自動的に始まり、1曲の演奏が終わると再び演奏を繰り返します。

\* 演奏中に [1/ALL] キーを押しても同様に働きます。



## ■ディスクの全曲を繰り返すには…

### 〈オール・リピート演奏〉

1. [1/ALL]キーを2回押す。



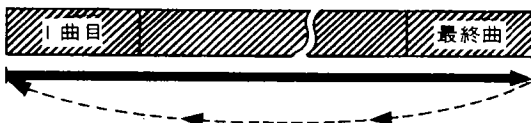
(表示窓に“ALL”“REPEAT”点灯)

2回押す

2. [PLAY▶]キーを押す。

\* ディスクの1曲目から演奏が始まり、最後まで演奏を行うと、最初の曲に戻って再び演奏を続けます。

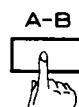
\* 演奏を開始後に [1/ALL] キーを2回押しても、同様に働きます。



## ■指定した区間を繰り返すには…

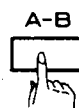
### 〈ブロック・リピート演奏〉

1. ダイレクト選曲キーまたは [PLAY▶] キーを押して演奏を始める。
2. 繰り返しを始めたい位置(A)で、[A-B]キーを押す。



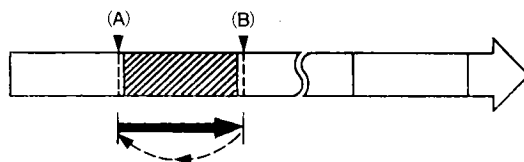
(表示窓の“A-B”点滅)

3. 演奏をそのまま続けるか [SEARCH] キーを押すなどして、繰り返しを終わらせたい位置(B)を見つけ再び [A-B] キーを押す。



(表示窓の“A-B”、“REPEAT”点灯)

4. 最初の(A)に戻り、A-B間の演奏を繰り返します。



\* プログラム・モード/デリート・モードの場合は、2つ以上の曲に渡るブロック・リピートはできません。

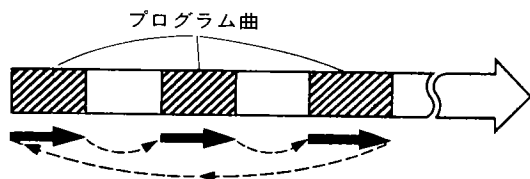
\* ブロック・リピート・モード時に [A-B] キーをもう一度押すと、ブロック・リピート・モードが解除されます。

## ■プログラム・リピート演奏

プログラム演奏時(15ページ参照)に [1/ALL] キーを2回押しておくで、プログラム演奏が繰り返し行われます。



(表示窓に“ALL”“REPEAT”点灯)




# 便利な機構とその使い方


## ■インデックス・サーチ[←/→]

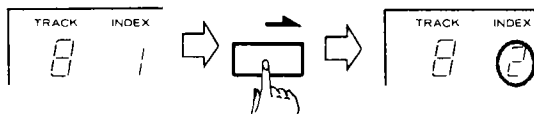
本機はインデックス・サーチ機能を備えていますので、インデックスが記録されているディスクでは、希望のインデックスから演奏を始めることができます。

[INDEX-←/→]キーで操作できます。

1. ダイレクト選曲キーを押してインデックス・サーチしたい曲を演奏する。
2. [INDEX ←/→]キーでの操作は、表示されているインデックス番号を増/減してセットすることができます。

 : インデックス番号増加 (1→2→3→)

 : インデックス番号減少 (4→3→2→)



3. 指定のインデックス番号へサーチが行われ、演奏を続けます。

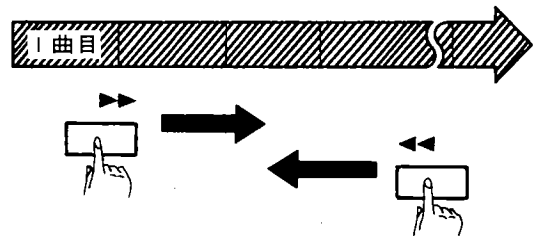
\* インデックス番号以上の「数」をセットした場合は、その曲の最後のインデックスから演奏を行います。

## ■ストップ状態でサーチする場合

1. [SKIP ►►]キーで曲番の選択をします。
2. [INDEX ►]キーでインデックスの選択します。
3. [PLAY ►]キーを押します。指定のインデックス番号へサーチが行われ演奏を続けます。

## ■サーチ(早送り/早戻し)(◀◀/▶▶)

演奏中または一時停止中に [SEARCH] キーを押すと、押している間が早送り/早戻しになります。「▶▶」キーを押すと早送り、「◀◀」キーは早戻しになります。動作中は再生音が小音量で聞こえますので、再生音または表示窓の時間表示を確認しながら希望の位置が探し出せます。キーから指を離すと通常の再生に復帰します。



- 演奏中に早送りでディスクまたはプログラムの最後まで来ると、その位置で一時停止になります。また、早戻しでディスクまたはプログラムのスタート位置まで戻ると、一時停止になります。
- プログラム演奏中は、メモリーされている曲をサーチします。

## ■オート・スペース

[AUTO SPACE] キーは、演奏時の曲間を一定(約4秒)にして演奏を行います。

- [AUTO SPACE] キーを押すと表示窓に“AUTO SPACE”が点灯してONとなり、もう一度押すとOFFになります。
- [STOP] キーを押すとオート・スペースは解除になります。

## ■ミュージック・スキップ(I◀◀/▶▶I)

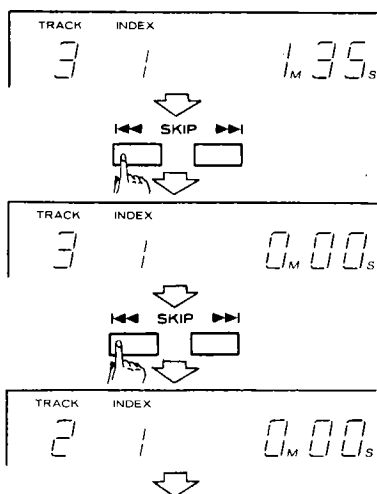
[SKIP]キーを押すと、曲番(TRACK No.)が設定できます。

停止中または一時停止中に押した場合は、曲番設定後に[PLAY▶]キーを押すと指定曲から演奏が始まります。

演奏中に押すと次のように働きます。

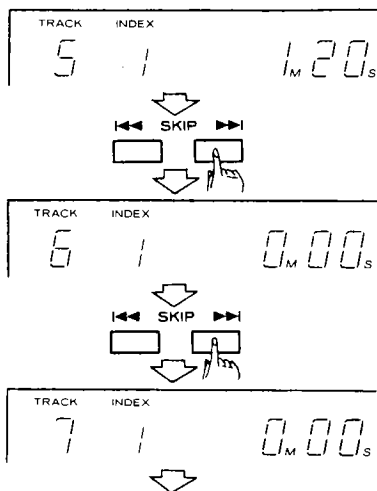
### 前の曲に戻る

演奏中に「I◀◀」キーを押すとその曲の頭に戻り、さらに押す度に前の曲、前の曲へと戻ります。



### 後の曲へスキップ

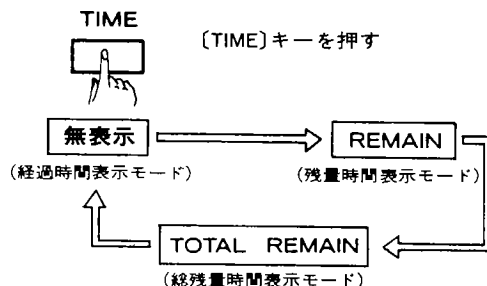
演奏中に「▶▶I」キーを押すと、その度に次の曲へ移り、曲の頭から演奏を続けます。



●プログラム演奏時は、メモリーされている曲のみサーチをします。

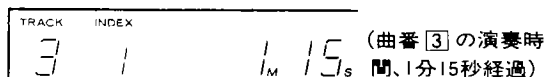
## ■タイム・カウンター

P-10表示部のカウンター・モードは、[TIME]キーを押すことによって各種タイム・カウンターとして利用することができます。



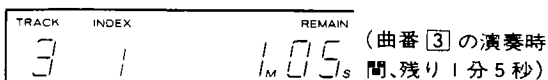
### ■通常のカウンター(無表示：経過時間)

[TIME MODE]キーを押してカウンター上部の表示を消すと、各曲ごとの経過時間を表示するカウンターとなります。



### ■リメイン・カウンター(REMAIN：残量時間)

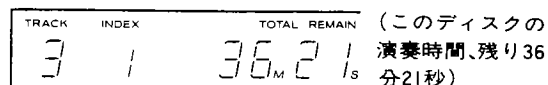
[TIME]キーを押してカウンター部に“REMAIN”を点灯させると、各曲ごとの残り時間を表示します。



### ■トータル・リメイン・カウンター

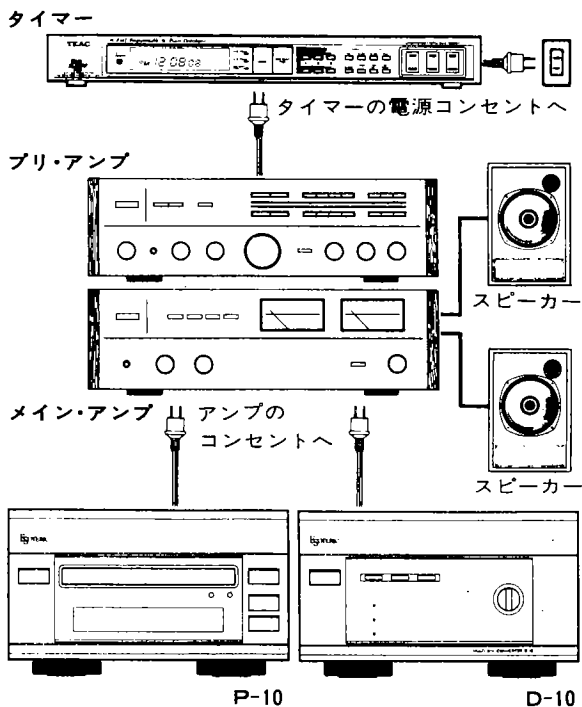
(TOTAL REMAIN：総残量時間)

[TIME]キーをさらに押すと“TOTAL REMAIN”が点灯し、演奏を終了するまでの総演奏時間を表示します。



- 曲番21以降の曲または、一曲リピート演奏時は表示しません。
- ストップした場合に、タイム・モードは(無表示：経過時間)になります。
- ディスクを装着した時は、自動的に“TOTAL”が点灯して総演奏時間を表示します。

# タイマー演奏



さわやかな音楽で目を覚ましたい……。

別売のタイマーを組み合わせ、希望の時刻から演奏を始めることができます。

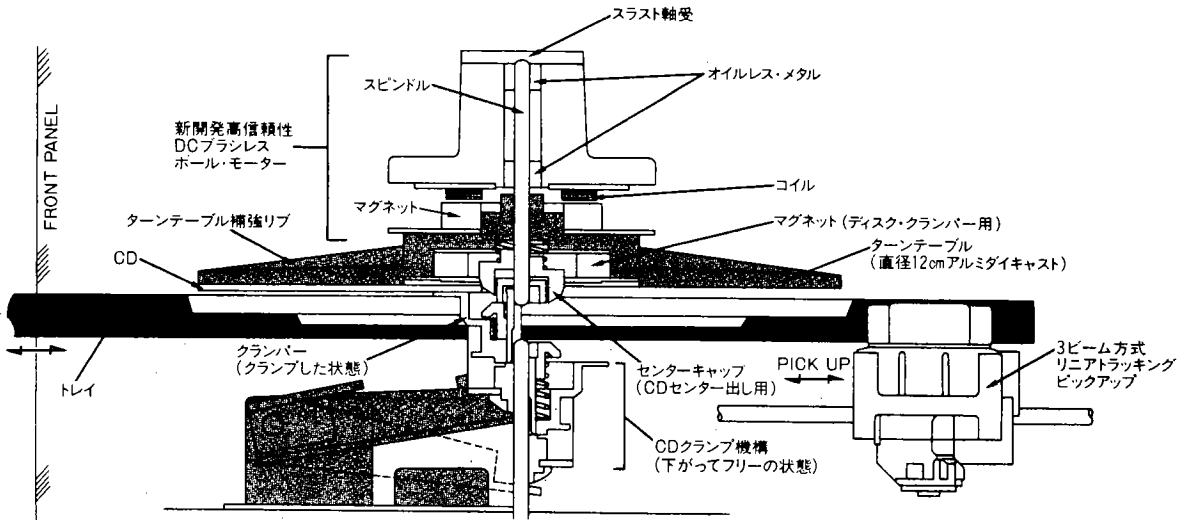
1. 電源コードを図のように接続する。
  - \*信号ケーブルの接続は、7ページ等を参照してください。
  2. タイマーをON状態にし、各機器の電源スイッチもON。
  - \*各機器へ電源が入ります。
  3. ディスクを入れる。
  4. ステレオ・アンプの“入力切換スイッチ”を、本機を接続した端子に合わせて切り換える。音量調整もしてください。
  5. タイマーを希望の時刻にセット。(各機器への電源が切れます。)
  6. 指定した時刻になると、ディスクの1曲目から演奏を開始します。
- タイマー演奏が終わったら、ディスクを取り出しておいてください。

## おや!? 故障かな?

症状	原因	処置
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしになっている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
	防振装置が“LOCK”になっている	“FREE”側に回転させてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
音が出ない(小さい)	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプ操作を間違えている	アンプのスイッチの位置を確認してください
電源を入れると演奏が始まってしまう	ディスクが入ったままになっている	本機はディスクを入れたまま電源を入れると自動的に演奏が始まる設計になっていますので、タイマー演奏のとき以外はディスクを取り出してから電源を切ってください
一曲しか演奏できない	[REPEAT]キーが押されて[IN]になっている	同キーをもう一度押して[OFF]にしてください
プログラム演奏にならない	[PROGRAM]キーが押してない	同キーを押して、表示窓に“PROGRAM”を表示させてください
	[PLAY▶]キーが押してない	もう一度[PLAY▶]キーを押してください
音飛びがする	プレーヤーに震動やショックを与えている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ハム音が出る	ピンプラグの接続不良	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近すぎている	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコン操作できない	本体の[POWER]スイッチが[OFF]になっている	[POWER]スイッチを[ON]にしてください
	リモコンに電池が入っていない	電池を入れてください

# 解説

## ESOTERIC P-10ドライブ機構略図) (大径圧着式テーパード・ターンテーブル)



### エソテリック独自の高品位メカニズム。ディスクのソリを矯正する大径圧着式 テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす。新開発の大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微小な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランパーがディスク本体を圧着し、ソリや歪みを矯正。そしてターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なビットを正確に読みとると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした全く新しいディスク・クランプ・システムです。すなわちビットをきわめて正確に読みとることで、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読みとりエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動部全体の振動等により発生するノイズを極少

と、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。P-10ではディスク・ドライブ・モーターをアルミダイキャスト・シャーシー上部に固定。ピックアップ部と完全に分離させることでモーター軸受、ピックアップベースの剛性、強度を飛躍的に高めることに成功しました。さらに支持機構を含むターンテーブル駆動部には高剛性アルミダイキャストを使用。耐久性、回転安定性ともに高い信頼性の新開発ブラシレス・ホール・モーターと相まって、振動に影響されず耐振・耐共振性を飛躍的に高めた高精度メカニズムを実現しました。

# アフター・サービスについて

## ■保証について

1. この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上で取扱説明書などと一緒に大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書の記載内容により、当社サービス期間が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を掲示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店、もよりの当社営業所、サービス・センター、またはサービス1課にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持でき

る場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

なお、営業所などの所在地および電話番号は、住所欄に記載してあります。

4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

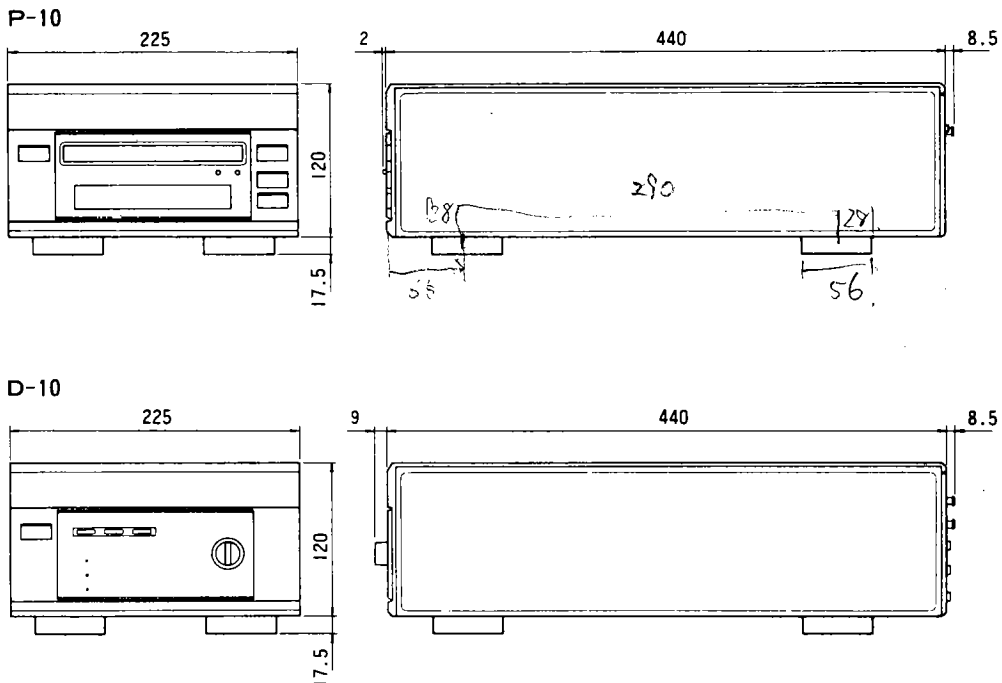
## ■サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または裏表紙の住所欄に記載の各営業所などにご連絡ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上り年月日「〇年〇月〇日」
4. お名前、住所、電話番号

## 寸法図

単位：mm



# 仕様

## P-10 CDドライブユニット

### <ピックアップ>

方式	対物レンズ駆動、光学式3ビーム
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm
<ピックアップ駆動方式>	リニアモーター駆動

### <信号フォーマット>

標本化周波数	44.1kHz
量子化ビット数	16ビットリニア/チャンネル
伝送レート	4.3218Mb/sec
変調方式	EFM
エラー訂正方式	CIRC

### <ディスク>

方式	コンパクトディスク
演奏時間	約60分/約20分
ディスク直径	120mm/80mm
ディスク厚	1.2mm
線速度	1.2~1.4m/sec
トラックピッチ	1.6 $\mu$ m

### <オーディオ>

出力(デジタル)	0.5Vp-p/75 $\Omega$ (COAXIAL) $\times$ 1 OPTICAL $\times$ 1
----------	--

### <一般>

電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	10W
外形寸法(W $\times$ H $\times$ D)	225 $\times$ 137.5 $\times$ 450.5mm
重量	10kg

### <リモコン RC-339>

リモコン方式	赤外線パルス方式
電池	DC 3V 乾電池SUM-3型 2個使用
外形寸法(W $\times$ H $\times$ D)	60 $\times$ 18 $\times$ 150mm
重量	105g(乾電池含む)

## D-10 マルチD/Aコンバーター

### <オーディオ>

オーディオチャンネル数	2チャンネル
周波数特性	0~15,000Hz $\pm$ 0.5dB(32kHz) 0~20,000Hz $\pm$ 0.5dB(44.1kHz) 0~22,000Hz $\pm$ 0.5dB(48.0kHz)

SN比 100dB以上(1kHz)

ダイナミックレンジ 97dB以上(1kHz)

高調波歪率 0.002%以下(1kHz)

チャンネルセパレーション 97dB以上(1kHz)

### 出力

●アナログ

2.5Vrms

●デジタル

0.5Vp-p/75 $\Omega$  (COAXIAL)

入力 0.5Vp-p/75 $\Omega$  (COAXIAL 1~2)  
OPTICAL  $\times$  2 (3~4)

### D/Aコンバーター

18ビット・ツイン

フィルタ D/Aコンバーター+ZDサーキット  
4倍オーバーサンプリング+デジタルフィルタ+4次ベッセルフィルタ

### <一般>

電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	12W
外形寸法(W $\times$ H $\times$ D)	225 $\times$ 137.5 $\times$ 457.5mm
重量	10kg

### <付属品>

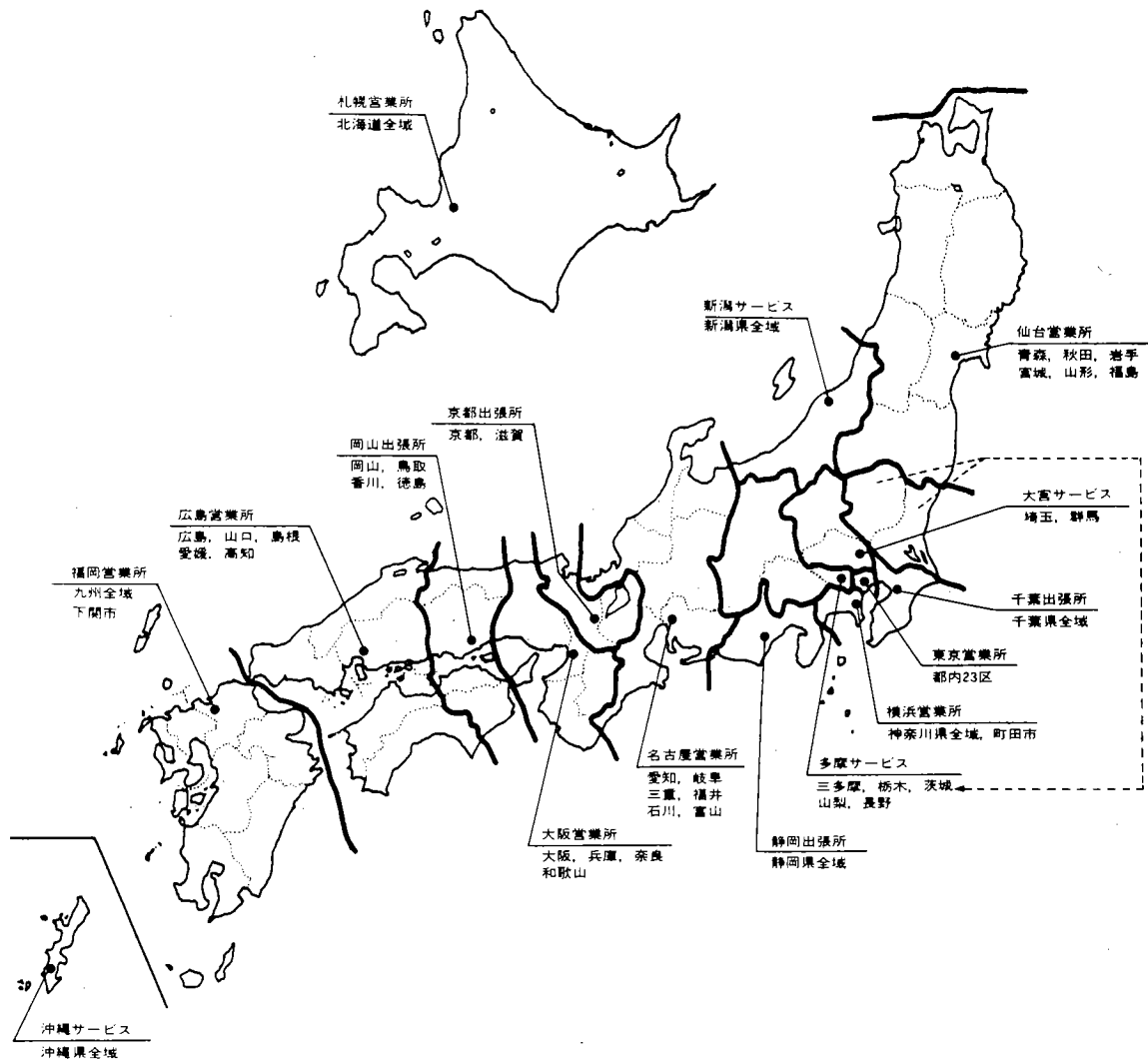
#### P-10

- リモコン(RC-339)
- 乾電池(単3 SUM-3)  $\times$  2
- 同軸コード(バン・デン・ハル社 デジタル・コード VDH-T208)
- 取扱説明書

\*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

\*製品の改善により、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

# TEAC・サービス・エリア



## ティアック株式会社

営業部 ☎(0422)45-7731代 〒181 東京都三鷹市下連雀4-15-30

### 技術的なお問合わせ

AV技術相談室 ☎(0425)60-7761 〒190-02 東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1

サービスに関するお問合わせは、最寄りの営業所等へご連絡ください。

営業所にはサービス・センターが併設されています。

札幌営業所 ☎(011)521-4101代	〒064	札幌市中央区南7条西2-2	くぼたビル
仙台営業所 ☎(022)227-1501代	〒980	仙台市1番町2-5-5	中央ビル
新潟サービス ☎(025)245-0103	〒950	新潟県新潟市本馬越1-4-11	黒井ハイツ
大宮サービス ☎(048)642-4551代	〒330	大宮市三橋2-1-846	
三鷹出張所 ☎(0422)45-7721代	〒181	東京都三鷹市下連雀4-15-30	
多摩サービス ☎(0425)60-8918	〒190-02	東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1	
東京営業所 ☎(03)592-1827代	〒100	東京都千代田区永田町2-10-7	星方岡会館
東京カスタム営業所 ☎(03)592-2051代	〒100	東京都千代田区永田町2-10-7	星方岡会館
千葉出張所 ☎(0472)55-1281代	〒260	千葉市松波1-11-3	石橋松波ビル
横浜営業所 ☎(045)312-3270代	〒221	横浜市神奈川区沢渡1-1	高島台第一ビル
静岡出張所 ☎(0542)81-6561代	〒422	静岡市中島大割2861-1	
名古屋営業所 ☎(052)782-4581代	〒464	名古屋市千種区東山通り3-2-3	
京都出張所 ☎(075)842-0751代	〒600	京都市下京区大宮通四條下ル四條大宮町21番地	新三虎ビル
大阪営業所 ☎(06)384-5201代	〒564	吹田市垂水町3-34-10	
岡山出張所 ☎(0862)25-8601代	〒700	岡山市新保1142-6	
広島営業所 ☎(082)294-4751代	〒730	広島市中区西川口町13-19	
福岡営業所 ☎(092)431-5781代	〒812	福岡市博多区東光2-2-24	
沖縄サービス ☎(09889)2-2020代	〒900-22	沖縄県宜野湾市宇嘉友名229	
サービス一課 ☎(0425)60-8918	〒190-02	東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1	

営業所またはサービス・センターの電話番号や住所などは予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。